



学生企画エコツアー報告書

学生と企業で考える ファッションの未来

2021-2022

第1回 9月9日
第2回 10月7日
第3回 3月17日

Patagonia Japan
Nakano Public Limited Company

主催 公益財団法人 横浜資源循環公社
NPO法人 アクションポート横浜



エコツアーとは？

横浜市で環境活動をしていたり、環境に興味のある学生が（公財）横浜市資源循環公社と協力して環境問題に取り組む現場を見に行くツアー。学生を中心に企画しています。

エコツアーの素敵な関係♪



横浜資源循環公社は、横浜市から出る廃棄物の適正処理事業と3R及び地球温暖化対策の推進を目的とした啓発事業を行っています。エコツアーは、啓発事業として「学生に身近なものを通じて環境問題や自分にできることを知ってほしい」という目的で、実施しています。

アクションポート横浜は、企業・NPO・行政・大学・若者とともに市民活動やボランティア活動の支援を行っています。地域のNPOとして、新しいものを繋げてわくわくを生み出すのが私たちの役割だと感じています。

今年のテーマ 「服のリサイクル」

私達学生にとってファストファッションは身近であり安く気軽に楽しめるという反面、生産量と共に廃棄量が激増している問題があることをニュースなどでよく耳にします。多くの企業がリサイクルやリユースなどの問題解決に取り組む中、消費者である私たちもファストファッションの背景にある課題を知り、私たちに何ができるのかを考えていきたいと思い、テーマを「服のリサイクル」に決定しました。

Patagonia編

日時：2021年9月9日（木）
時間：10:30-12:00
開催方法：オンライン（zoom）

Time Schedule



①パタゴニアの取り組みとは？

大量生産・大量消費を削減するために、リサイクルだけではなく、リペアをして長く使う、浪費をしないということに取り組んでいます。また、衣服だけではなく、カバンや帽子などもリペアができます。お客様が長年使用してきた愛情のある商品を長く使うことができるように、お客様の想いに寄り添っているのが特徴となっています。よい服を長く大切に
使ってもらいたいという考えやお客様の大事
にしてきた服への思いを尊重してリペアという
サービスを行っています。

②参加者からの感想

- ・服の浪費を抑えることがその先の環境問題にも繋がっていくことを知り、そのためには修理に出すという選択肢を選んだり、自分の持っている服に愛着を持って長持ちさせたりすることが大切になってくるのだと感じました。
- ・安い服を何着も買うことが多いのですが、Patagoniaさんのお話を伺って1着1着を大切に長く使えるよう、自分の消費者としてのあり方を見直したいなと思えました。



担当者からのコメント



パタゴニア横浜 安田様

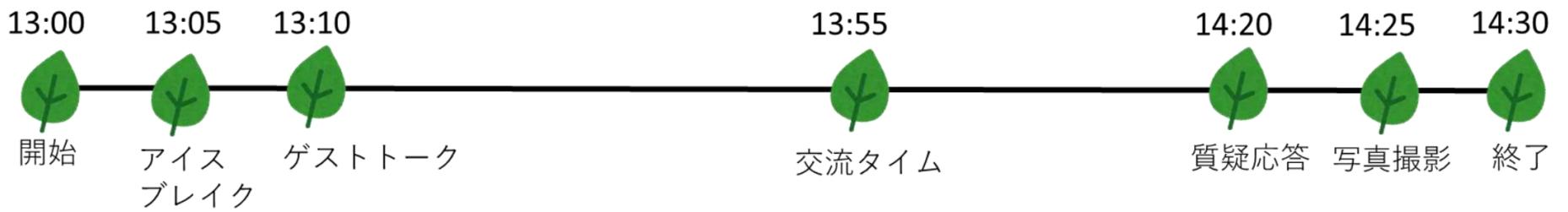
参加された皆さんの服への想いや消費のスタイルが実に多様で、修理を含めた服と生活の未来に関して、私自身も学びをいただける時間でした。「修理を試みようと思った」「一着を大切にしようと思った」などのご感想をいただけたこと、とても嬉しいです。素晴らしい機会をいただきありがとうございました。

ナカノ株式会社編

part1

日時：2021年10月7日（木）
 時間：13:00-14:30
 開催方法：オンライン(zoom)

Time Schedule



①ナカノ株式会社とは？

ナカノ株式会社は、古布や古着から繊維リサイクル製品を生み出す事業を行っています。また豊かな社会づくりに貢献する事業の一環として、「エコソフィー」を行動指針とし、その実践に積極的に取り組んでいます。

②ナカノ株式会社の取り組みとは？

衣類を回収し、主に中古衣料とウエスと反毛加工の3つに選別します。そのうち中古衣料の99%は東アジアに輸出しています。衣類は一次原料である他の資源物と比べて需要が小さくなっており、経済性・量的問題がリサイクル市場の拡大を妨げています。この違いは衣類リサイクルを理解する上で極めて需要になってきます。古着に加工する過程でコストがかかるため、ナカノ株式会社はバランスを取りながらリサイクルに取り組んでいます。



③私たちが今後できること

- ・一つの服をよく考えて買う
- ・エコの意識を日々の生活に取り入れる
- ・持っている服を大事に使い続ける
- ・古着の行方やリサイクル方法を広めたい
- ・「濡れ・汚れ・破れ」があるものはリサイクルに出さない
- ・背景を知り、相手のことを意識した上で衣類リサイクルに出す
- ・着なくなった服を自分でリメイクするなど小さな事から始めてみる



↑ 今後取り組んでいくべきことを宣言している様子

ナカノ株式会社編

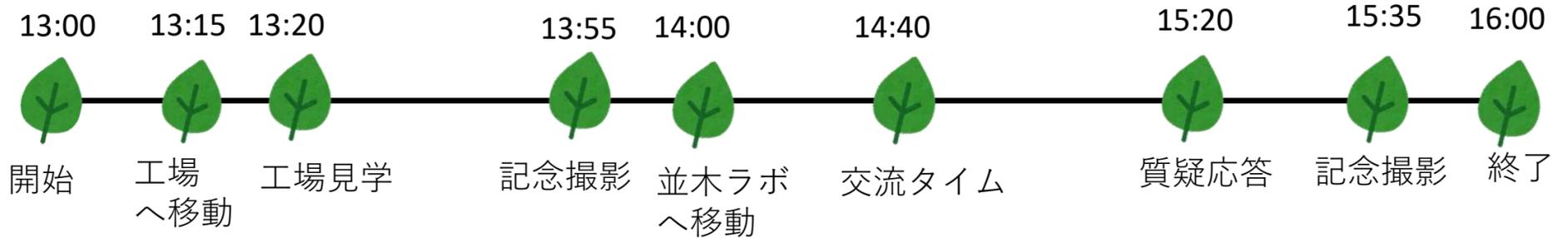
part2

日時：3月17日（木）

時間：13:00-16:00

開催方法：対面

Time Schedule



④参加者からの感想

- ・ 今回のイベントのように、かなり細かい詳細までを知れる機会があり、その専門家がいる中で議論できる時間があるのは本当に多くのを学べる機会になりました。実際に肌身を通して経験することで、その問題の重大さに改めて気付くことができると実感しました。
- ・ 対面での活動だった為、思いを持った人が集まっているという印象を受けました。そんな方々と一緒にディスカッションが出来て、様々な視点から物事を見ることができ良い機会になったと思っています。



⑤交流タイム

「知る」「伝える」「深める」の3グループに分かれ、「WE（私たち）」としてどのようなことに取り組むべきか、そして「I（自分）」はどのような行動を行うべきかということを話し合いを行いました。

⑥今後への宣言

- ・ 流れで捉える
- ・ 興味を持ち続ける
- ・ 問題の根本を見つける
- ・ 「『捨てる』～『捨てる』」を考え、意識する
- ・ 行動してそれを伝える それを続けて循環させる



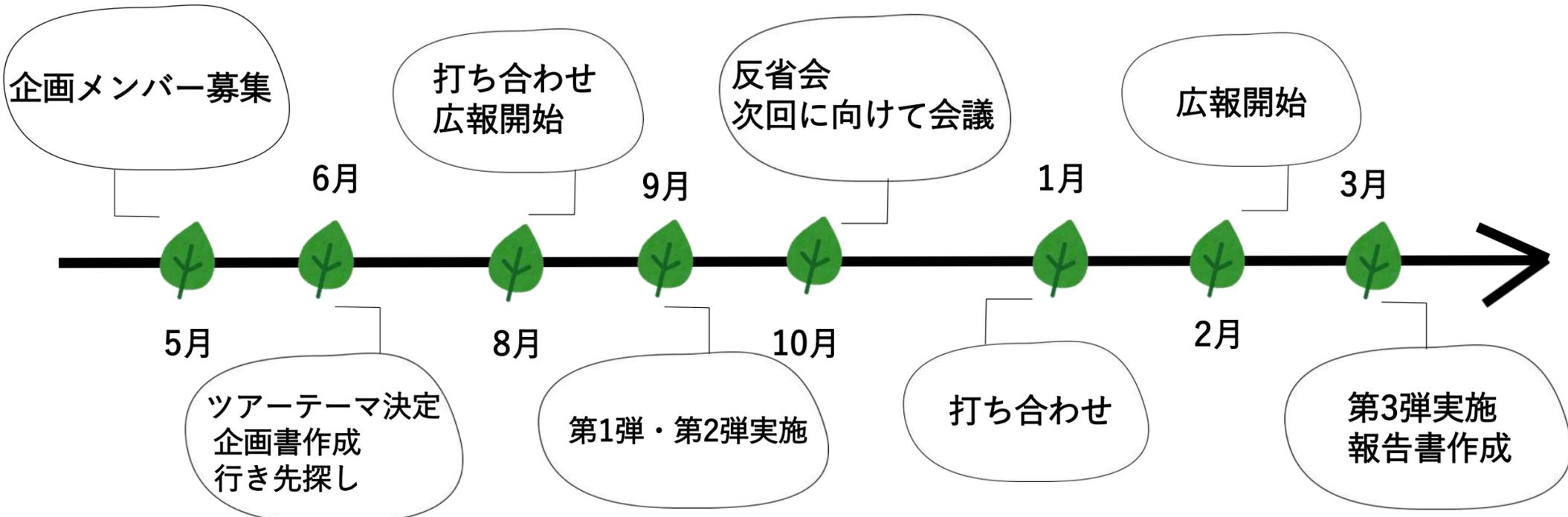
担当者からのコメント



ナカノ株式会社 窪田様

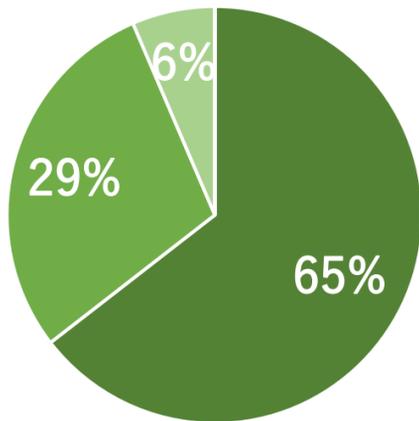
約半年にわたり衣類のリサイクルに関心を寄せていただきありがとうございました。身近でありながら難しい衣類リサイクルの実際を若い世代の皆さんに理解していただくことは、将来にむけ極めて大事なことだと思っています。またお話しさせていただく機会があれば嬉しいです。

企画ができるまで



参加者の変化

エコツアーを通して環境への理解が深まったか



(全参加者37人の内31人からの回答)

- とても深まった
- 深まった
- 変わらなかった
- あまり深まらなかった
- 深まらなかった

参加者からの声

- ・問題の本質はどこかということを考えるようになった
- ・簡単には解決できない問題であるが、考え続けることが大切であると考えようようになった

企画・編集：アクションポート横浜 学生チーム



企画リーダー 佐藤さん

メールのやり取りや、企画書の作成、会議の司会進行など慣れないことは多かったです。1つの企画を作り上げるという経験をできたことは大きな財産であると感じています。



企画メンバー 阿部さん

エコツアーを通して、衣服のリサイクルの難しさを学びました。また、周囲に拡散することの重要性を改めて感じました。



企画メンバー 吉田さん

エコツアーを通してたくさんの人と出会い、人として成長することができたと思います。関わってくださった皆さんありがとうございました！